

Cucumber

キュウリ

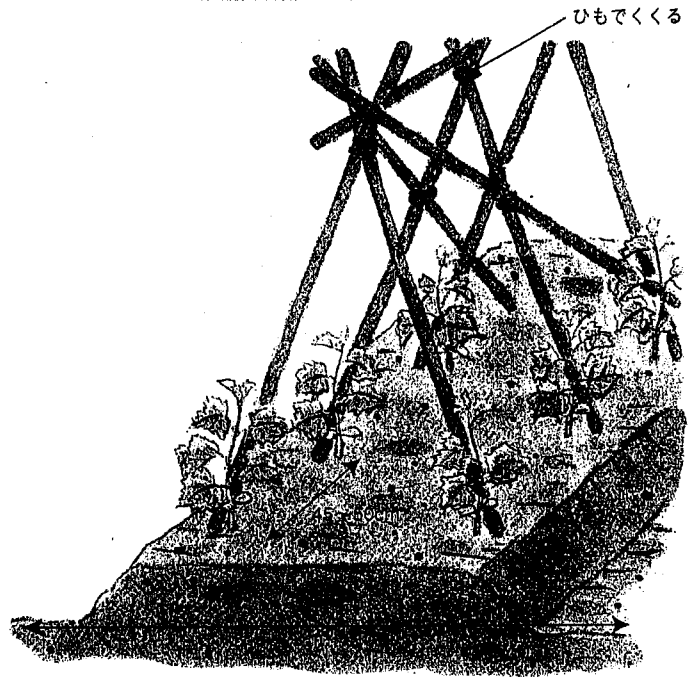
●ウリ科 — インド西北部、ヒマラヤ山麓原産

ゆきいん てきしん
●誘引・摘心

つるが伸びてきたら、ひもで支柱にくくりつけます。30~40cm伸びるごとに誘引しましょう。8の字形で、つるにはゆるめに、支柱にはしっかりと結びましょう。

わき芽(子づる)を伸ばし過ぎると、葉が混みあって風通しや日当たりが悪くなり、病気になったり、着果が悪くなったりしますので、整枝をします。その方法は、6枚目の葉のわき芽までは全て摘み取り、それより上位のわき芽は、葉を2枚つけて、その先端を摘み取ります。つるが支柱の先端まで伸びたら、親づるを摘心します。

支柱立て



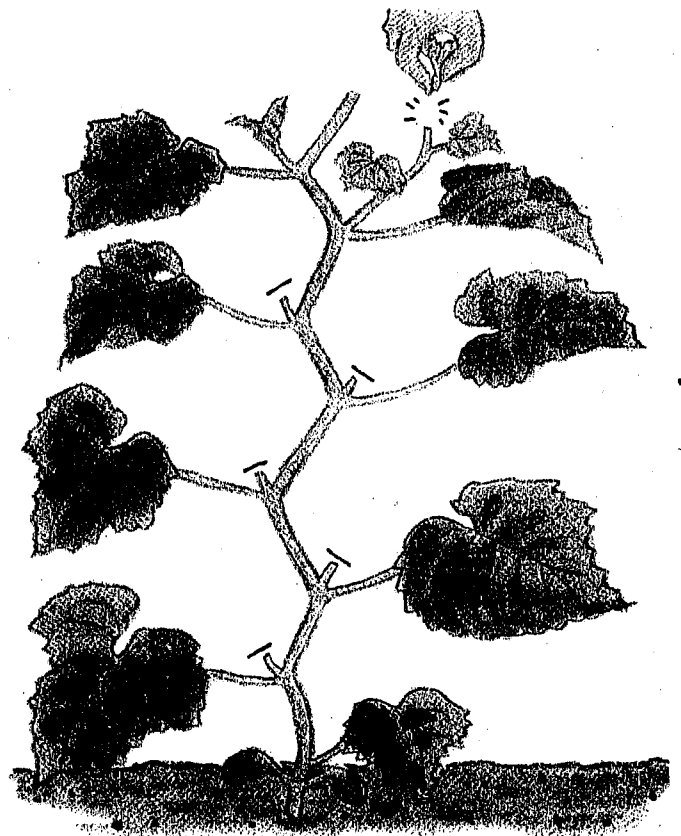
●高さ2mの支柱を畝の両側から交差させる。交差させたところに横樫を渡し、ひもでしばる(合掌支柱)

誘引



●つるが伸びてきたら、ひもで支柱にくくりつける。30~40cm伸びるごとに誘引する

摘心



●6枚目の葉のわき芽までは全て摘み取り、それより上位のは、葉を2枚つけて、その先端を摘み取る。つるが支柱の先端まで伸びたら、親づるを摘心する